

□議員名：笹木慶之

1 企業誘致の推進について

論点	東京で開催された「企業立地フェア2014」への出展と市長プレゼンテーションセミナーを終え、どのような感触を得られたか。また、その後新たな状況変化を感じられるか伺う。
回答	来場者は5/21～23の3日間で、企業立地フェア延べ約2,700名、プレゼンテーションセミナー100名でした。市長が小野田楠企業団地の販売促進を中心に本市の立地環境や誘致の取組について、山口東京理科大学の塚本学長が人材育成の取組や本市の魅力について説明した。関東の企業から当該団地の取得に関する質問をいただいている。今後、誘致につながるよう鋭意努力する。

論点	進出企業（既存企業）は、厳しい社会経済環境の中、たゆまぬ企業努力により地域社会の発展に多大の貢献をされている。市として可能な限りの十分な対応がされているか伺う。
回答	企業立地推進室の職員が常時企業に赴き情報交換をしながら要望、指摘を受けている。既存企業の内発展開は極めて重要であり新規誘致と同様の経済効果がある。今後一層の努力をする。

2 行政改革大綱について

論点	本市の行政改革は、行革大綱に基づき強力に推進され、確実な成果を上げてきたことは高く評価できる。その上で社会情勢は今大きな変革の時にあると思うが、先に示された行革大綱の改訂版に新たな取り組み項目がない。それでいいのか伺う。
回答	外部委員からなる行政改革推進審議会のなかでご指摘の事項について検討したが、計画の残期間が3年であること等から、未了事項の対応に取り組むことが効果的とのことから、新たな項目の追加には至らなかった。

3 中山間地域対策について

論点	人々が中山間地域で生活を営み、地域を保全し生産活動を継続することにより、食料の供給、国土・自然環境の保全など多面的な重要な機能を維持している。農林業の振興と過疎化対策について伺う。
----	--

回答	高齢化、後継者不足等で過疎化が進むことにより耕作放棄地が拡大し、森林の荒廃を招き、農地や林地が持つ多様な機能を失いつつあり厳しい状況にある。JA山口宇部等関係機関と連携を図り対応していく。
----	--

論点	本市のうち約2／3の区域が県の定める中山間地域とされている。県は中山間地域づくりビジョンを策定し積極的に取組、「県庁中山間応援隊」も活動開始した。これを受けての本市の実態と対応を伺う。
回答	応援隊は住民自らが地域の将来像や行動計画を定めた地域の夢プランの実現に向け派遣される。現在はその実態がないが、今後支援を希望する地域があれば対応していく。

論点	人口減社会の到来により地方の危機が叫ばれている。その中でこの問題との関係をどの様に考え、どのような対策をとるのか伺う。
回答	現在中山間地域に特化した人口減少対策は行っていない。人口減少が続いている本市の状況に鑑み全体の問題として捉え、平成24年総合計画の基本計画の見直しの際新たな施策として定住促進の項目を加えた。住み続けたいと思う魅力あるまちづくりを展開するとともに関連する諸施策に取り組んでいる。